

# Victory

NO.11

令和8年2月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館 文責：小原央子

寒さが少しずつ和らぎ始め、道端の梅の木にも白い可憐な花を見かけるようになりましたが、先日は、河津桜が咲き綻んでいる場面に出会えました。2月も折り返し地点を過ぎたことを改めて感じました。

季節の移ろいと共に学校の日常も少しずつ変化しています。

そんななか、変わらないのは自分だけ…などと思っていませんか？そんなことはありません。ささやかな、しかし確実に変化している自分自身をこの時期探してみるのもいいかもしれません。

発見したら、しばし自己と対話する時間を持ちたいものです。

3月1日に卒業する高校3年生のみなさんに、2月生まれのヴィルヘルム・グリム（グリムの昔話の編纂・出版者）が残した言葉を贈ります。

「幸福は行動から生まれる」…卒業おめでとうございます。

どうぞ素敵な人生を歩んでください。



## SSHの図書が入りました。

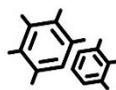
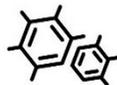
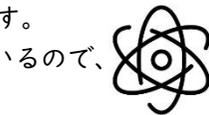
今年度もSSH予算で科学系図書を購入しました。

今回は、物理、化学、地学、航空力学分野の関連図書になります。

リスト一覧はGoogleClassroom「図書館ルーム」にアップしているので、どんな本が入ったか確認しましょう。

なお、本は文庫書架横の展示ボードに配架しています。

高校1年のみなさんは、きみろんのテーマに沿った情報を時間をつくって収集し、複数の資料を読み進めるようにしましょう。情報収集のサポートは、図書館に任せ、安心してカウンターまで。



お知らせ

## 高校3年生へ

## 図書返却をお願いします。

いよいよ卒業ですね。次のステージに向けて全力を尽くしていることと思います。在学期間、本校図書館の活用ありがとうございました。

新生活でも、学びや心の支えとして図書館を活用してください。

現在、受験等で本を借りている人は、2月28日（土）までに必ず返却をお願いします。



## 集英社文庫 50冊セット贈呈

第45回全国高校生読書体験記コンクールにおいて、2年7組の草刈咲桜さんが優良賞を受賞しました。受賞作品は島崎藤村著『破壊』、体験記タイトルは「関わり方を探る」でした。受賞、おめでとうございます。

学校賞として、集英社文庫50冊の贈呈がありました。

なお第40回においても47期生が同賞を受賞し、贈呈いただきました。

今回贈呈された50冊は、図書館入り口に展示していますので、ぜひ手に取って読んでみましょう。あなたの新たな読書体験を広げる出会いがあるかもしれません。

なお、中央入賞者8名の体験記を以下のサイトから読むことができます。

<https://www.hitotsubashi-bks.jp/contents/news/260130.html>



知っ得情報！！

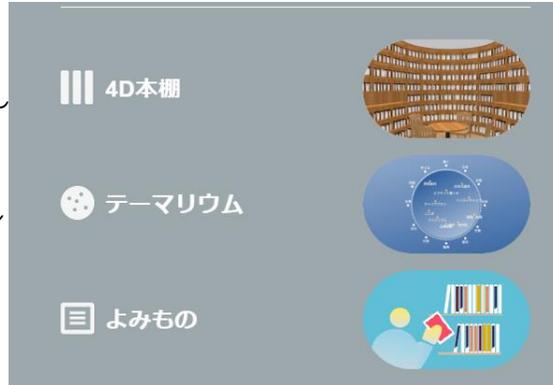
# 新書マップ4Dを知っていますか？

仮想3次元空間内の様子→



「新書マップ4D」は、ウェブサイト上にある新書の読書案内サービスです。2004年にNPO法人連想出版により開発・運営が始まり、現在は約24000冊の新書の目次と概要を紹介しています。いつでも好きなときに、自分の端末から新書を探せる優れたもの。HPアドレスは、<https://shinshomop.info/>。早速アクセスし、ブックマークしましょう。

仮想空間としての図書館の棚に並んだ本を探せる「4D本棚」を核として、キーワードから自分の気になるテーマを探し、テーマから新書を見つづける「テーマリウム」、3つのコンテンツから知りたい・読みたい・考えたいを網羅した「よみもの」から構成されています。



4D本棚は、スクロールすることで棚移動し、棚をタップするとテーマ別の本の背表紙をチェックできます。目的のタイトルをタップすると、その本の表紙と著者・出版社・出版年および概要が表示されます。更に本の詳細や関連図書はもちろん自分の本棚に入れることも可能。

購入や図書館で探すときにも役立つアイテム。



テーマリウムは、星座表さながら。左側の検索バーにキーワードや関連文章などを入れると、右側の円にそれぞれ外側には「関連ワード」、内側には「関連テーマ」が表示。内側のテーマをタップすると関連本棚が表示され、こちら本をタップすると概要および関連書の表紙が表示。



よみものは、どのコンテンツも熱く興味深い。

「新書に訊け！」は、最新のニュースを取り上げ、所属するテーマと関連図書を紹介。探究はもちろん小論文対策にも優れたもののコンテンツ。

「新刊月並み寸評」は、なぜ今この新刊書が世に出たのか？という傾向と特徴から現代社会を読み解いています。

「新書で考える「いま」」は、編集部がおすすめする1冊を中心に「いま」を考えてみる、考えていくコーナーになっているので思わず読みたくなります。

新書は、みなさんが初めて出会う論文の入り口です。その一歩を担う役割を負っているとんでも過言ではありません。本校図書館には約3000冊の新書が並んでいます。リアルに眺め、手に取り、目次を追うことをお勧めしますが、一方で今回紹介した「新書マップ4D」をぜひ使い慣れてください。「探す」を通して、テーマのあり方を知る貴重なデジタル空間でもあります。中学・高校時代に多くの新書を読み、慣れ親しんでおきましょう。



## 先生おすすめの本

『仕掛学 人を動かすアイデアのつくり方』501マ

松村真宏著（東洋経済新報社 2016）

化学の中原重弘先生から紹介していただきました。「ついついしたくなっちゃう」アレコレには、しっかりとした仕掛があった。仕掛の定義、基本、仕組み、発想法と読み進めるうちに「なるほど、そういうことか！」と合点がいく。

探究のヒントが満載ともいえるこの一冊に加え、続編『実践仕掛学』には45の仕掛が紹介。人工知能研究者である著書曰く、問題解決の一つの方法は、データやコンピューターに頼ることを止めることだそう。五感を働かせることを忘れていませんか？

